

[2007]九州大学情報統括本部年報 : 2007年度

<https://doi.org/10.15017/1470731>

出版情報 : 九州大学情報統括本部年報. 2007, 2008. 九州大学情報統括本部
バージョン :
権利関係 :



第14章 図書館連携事業

14.1 仮想書架サービス（試験導入）

他のキャンパスの蔵書閲覧し、貸し出し予約または取り寄せをするためのサービスの仕様設計を行い、AJAXを用いたWebインタフェースを開発しました（図1）。

この詳細は附属図書館研究開発室年報に掲載予定です。

14.2 オンラインリファレンス用Webサービス（試験導入）

蔵書のリファレンスをオンラインで行うサービスのSNS（Social Networking Service）の試験導入により、司書のみならず、利用者間でもフレンドリーな情報交換ができるようにしました。

14.3 機関リポジトリ支援サービス

国立情報学研究所CSI事業の支援により、九州大学の文献を世界に公開する九州大学機関リポジトリのシステム・コンテンツ・運用支援を行いました。具体的には、①多様なコンテンツの統合検索できるAPIおよびSNSからの検索機能をはじめ、②SNSから機関リポジトリへのアクセス制御機能、③九州大学教員情報からのアクセス履歴を個人ごとに集計する機能を実装しました。

14.4 学術情報リテラシー教育サービス

学術情報を効率よく入手できることをめざし、

- ① コアセミナー授業と連携した講習会
- ② その都度企画される企画講習会や、利用者の依頼によるオンデマンド講習会を行いました。その記録を表1に示します。

14.5 図書館利用認証支援サービス

全学共通 IC カード導入推進室会議で導入中の MIID (Media Independent ID) システムを、伊都キャンパスの理系図書館において入館システムおよび貸出システムにおいて運用しました。そのノウハウや課題は上記導入推進室に生かされています。

14.6 図書館システム技術支援サービス

図書館で運用されている各種情報システムの技術支援を行いました。今年度は空調機の故障があり、空調機新調までの間扇風機などで温度管理を行いました。

14.7 図書館情報サロン管理サービス

中央図書館や理系図書館、六本松分館、医学分館、筑紫分館に配置されている情報サロン端末のメンテナンスや環境整備を行いました。この中で中央図書館の情報サロンで演習用として利用されている約 20 台の端末が老朽化・故障しており、学術情報リテラシー教育サービスにも支障をきたしていることがわかりました。

14.8 Web アプリケーション開発勉強会

利用者の有志および職員の研修の一環として、Ruby on Rails を用いた Web アプリケーション開発を体験する勉強会を 5 ヶ月にわたって行いました。この様子は附属図書館研究開発室年報に掲載予定です。

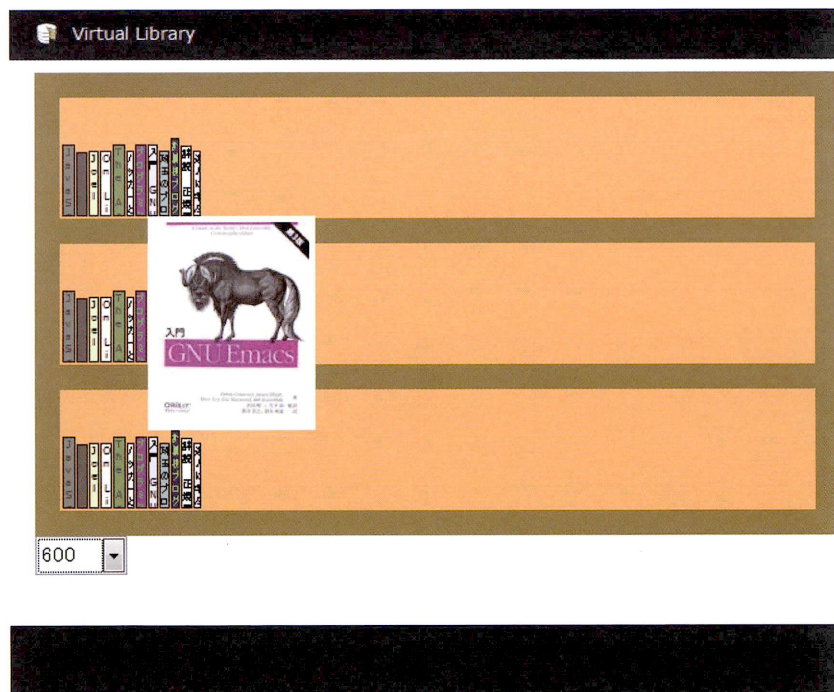


図 1 仮想書架システムの画面

表 1 学術情報リテラシー教育の実績

・新入生図書館ガイダンス

対象学部	実施日	回数	人数
文学部	4/16,23, 5/7,14,21	10	170
教育学部	5/28	1	60
法学部	6/22	1	20
経済学部	4/19, 6/7	2	45
理学部	4/10, 17	2	50
農学部	4/26, 5/10,17,31	4	190
比較社会文化学府	4/7	1	120
計		21	655

・利用説明会

内容	実施日	回数	人数
Scopus	5/23(水)~5/25(金)	10	156
RefWorks	5/23(水)~5/25(金)	10	140
SciFinder Scholar	10/17(水)~10/18(木)	6	158
Web of Knowledge	11/6(火)	5	72
日経 NEEDS-Financial Quest	7/12(木)	1	15
ユリスデータベース (ドイツ法情報)	10/4(木)	1	20
計		33	561

オンデマンド講習会

内容	実施日	回数	人数
法学部	5/8	1	15
経済学部・学府	4/18,4/20,7/4,7/12,10/23,12/4	6	62
理学部	10/12,11/30	2	14
比較社会文化学府	4/23	1	13
医学部・学府	4/11,4/23,5/15,11/20,12/14,3/4	5	342
学内その他	5/15,6/20,11/7	3	83
学外者	6/21	1	45
計		19	574